



環境に配慮した新地区センター

3月31日、「はちけん地区センター」の落成記念式典が行われました。琴似中央小学校の児童4人が、喜びの気持ちを発表した後、くす玉を割ってスタートを祝いました。

建物は、高齢者や障がい者にも利用しやすいよう、段差のない設計となっているほか、地中熱利用のヒートポンプ、補助暖房としてペレットストーブが設置されるなど、環境面にも配慮されています。

(建設にあたっては、日本中央競馬会からの交付金を受けました。)



集配中、子ども見守ります

3月28日、「札幌西郵便局地域の子ども見守り隊」の結成式が同局で行われ、約150人の職員が参加しました。

結成式では、職員代表の清水孝重さんと須永まゆみさんが決意表明文を西区長に手渡しました。同局職員は「地域安全パトロール」の黄色いワッペンを身に着けて集配業務などに当たり、不審者に目を光らせることにしています。



川に戻っても元気でね

4月1日、山の手南小学校の児童と父母ら約20人が琴似発寒川にヤマベの稚魚200匹を放流しました。この稚魚は、3カ月間、児童が家庭で飼育していたものです。児童らは「元気でね」などと声を掛け、力強く泳ぐ稚魚を見送りました。

放流された稚魚の一部は川に残り、その他は川を下って海で成長して2、3年後にサクラマスとなって産卵のため遡上してきます。



ようこそ新1年生

4月11日、二十四軒児童会館で「新1年生を迎える会」が開催されました。

この日は新1年生33人が集まり、児童会館の決まりについて説明を受けた後、全員でゲームなどをして楽しみました。

最後に、子どもたちは赤や青のスタンプで手形を押しました。後日、手形をうるこに見立てて、大きなこいのぼりを作る予定です。



区内で行われた
行事を写真で
紹介します。



広告欄